

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成 24 年 5 月 14 日

昭和産業株式会社 平成 24 年 3 月期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：岡田茂）の平成 24 年 3 月期連結決算は、売上高 2,259 億 76 百万円、経常利益 78 億 43 百万円となりました。平成 25 年 3 月期通期連結業績予想については、売上高 2,300 億円、経常利益 80 億円を見込んでおります。

【平成24年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、東日本大震災の影響による景気低迷から緩やかな回復に向かいつつあるものの、欧州の金融不安や米国の経済減速懸念などの影響もあり、景気の先行きが不透明な状況にありました。

食品業界におきましても、消費者の節約志向や低価格志向が定着してきたことに加え、原料穀物相場が小麦、大豆、菜種、とうもろこしの全てにおいて依然として高値圏で推移するという厳しい環境にありました。

このような状況の中、当社グループは、2009 年（平成 21 年）よりスタートした「中期経営計画 09－11」の 5 つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤CSR 経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は 225,976 百万円と前連結会計年度に比べ 12,266 百万円（5.7%）の増収となりました。営業利益は 6,964 百万円と前連結会計年度に比べ 1,743 百万円（33.4%）の増益、経常利益は 7,843 百万円と前連結会計年度に比べ 2,087 百万円（36.3%）の増益、当期純利益は 4,067 百万円と前連結会計年度に比べ 3,652 百万円（878.9%）の増益となりました。

【平成25年3月期連結業績予想】

当社グループの扱う原料穀物は、アジア諸国の経済発展と人口増加や頻発する異常気象などにより今後も高い価格水準で推移することが考えられます。一方で、東日本大震災及びその後の原発事故や電力不足など、国内景気は先行き不透明であり、当社グループを取り巻く経済環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況において、当社グループは、平成 24 年 4 月より 5 ヶ年計画「中期経営計画 12-16」を開始し、当社グループの持つ多様な事業の将来ビジョンを描き、成長戦略を遂行することで厳しい経済環境に対処してまいります。

平成 25 年 3 月期の業績は、連結売上高 2,300 億円、連結営業利益 80 億円、連結経常利益 80 億円、連結当期利益 43 億円を見込んでおります。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部長（^{いのひろし}猪野 浩）まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097